

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：明日葉保育園鷺沼園	種別：認可保育所
代表者氏名：関野 幸緒	定員（利用人数）：65名（70名）
所在地：〒216-0001 川崎市宮前区鷺沼1-6-3	
TEL：044-982-9186	
ホームページ：https://www.ashita-ba.jp/hoiku/saginuma/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：平成27年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社あしたばマインド	
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員： 10名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士：10名 栄養士：2名
	看護師：1名 調理師：1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：6 トイレ：園児用2 多目的1 調理室：1 事務室：1 更衣室：1 相談室：1
	（設備等）園庭：有

③理念・基本方針

【明日葉保育理念】 「子どもの明日を育み、今日を支える」

明日葉の花言葉は「旺盛な活動力」。

私たちは、子どもが毎日を豊かにすごせる保育を通じて、

明日をたくましく生きる力を育みたいと考えます。

そして、子どものすこやかな成長を願う

ご家庭や地域社会とのコミュニケーションを大切にして、

よりよい今日をサポートします。

【明日葉保育方針】 子どもが、今日を最もよく生き、望ましい「明日」を創りだす力の基礎を培う

【明日葉保育目標】

◇自分も人も尊重できる子ども

◇自分で考えてほしいことを選び取れる子ども

◇心も体も健やかな子ども

◇思いを適切に表現できる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

食育(PAKUTTO)・体操(DEKITA)・リトミック(flower)・異文化交流(あしたばドア)のプログラムを柱に子どもたちが主体的に選択できるような保育をしています。幼児クラスは、週1回、「からふるデー」を設け、主体的に選択できる環境を用意しています。乳児クラスは、発達に応じて少人数で過ごせるようにしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月24日(契約日) ~ 令和4年3月24日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1 回(2016年度)

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)主体性を育む異年齢保育

週に一度の「からふるデー」では、3~5歳児クラスの子どもたちが保育室や園庭で、コーナー遊びや運動遊びなど好きな遊びを選んで一緒に楽しんだり、テーマを設定して一緒に活動に取り組むなどしています。「勤労感謝の日」をテーマにした時は、グループごとに電車の運転士やおもちゃ屋さん、アイス屋さんなど、様々な職業の衣装や道具を皆で相談しながら制作し、赤いテープをレッドカーペットに見立てて、ショーのように披露しました。子どもたちは、異年齢での活動の中で、年上の子が年下の子をリードしながら互いに協力し合うなど、主体性を育みながら成長しています。

2)工夫を凝らした食育活動の取組

子どもたちが、「食」に対する正しい姿勢や知識を身につけ、健やかに成長できるよう、法人全体で食育活動の取組を積極的に行っています。オリジナルキャラクター「みらいエナジー」で野菜に愛着が持てるようにしたり、ペープサート、エプロンシアター、紙芝居などを用いて、食事の大切さを子どもたちにわかりやすく伝えています。コロナ禍のためクッキングの実施方法を工夫して、自分の食べる分を完成させる「セルフクッキング」を行ったり、あしたばドア(異文化体験保育プログラム)と連動し、世界の料理の話聞くなど、食に対する興味や関心を広げられるようにしています。

3)人材確保や定着率アップに向けた取組

法人の人材育成計画で園運営に必要な人員体制に関する基本的な考え方、人材確保と育成に関する方針を明示しています。ホームページの採用情報にはキャリアアップの仕組みや研修体制などのほか、職員のメッセージを掲載して職場の雰囲気伝えるなど、効果的な採用活動を実施しています。現場力向上のために、各事業所の取組を発表し合ったり、ワークショップを開催するなどしているほか、勤続年数に応じた表彰制度なども導入し、職員がやりがいを持って働ける環境づくりに努めています。

◇改善を求められる点

1)課題の改善に向けた組織的な取組

園の自己評価を年度末に実施し、経営層の会議で評価結果の分析を行い、評価結果を踏まえた課題の改善への取組内容を、単年度の事業計画に記載しています。今後はさらに、職員全体で評価結果から抽出された課題の共有化を図り、職員参画のもとで改善策を検討し、事業計画の策定につなげるなど、職員が主体的に園運営に携わり、課題の改善に向けて計画的、組織的な取組が期待されます。

2) 職員の意欲向上に向けた学び合える環境の整備

法人の人材育成計画で階層別の期待する職員像とキャリアパスの仕組みを明示し、職員個々の経験や能力に応じた階層別研修や職種別研修、専門的な知識を深めるためのテーマ別研修などを実施しています。今後はさらに、法人の人事管理システムにもとづいて、園における職員育成の方向性を明確に示し、園内研修の計画的な実施や職員一人ひとりの適切な目標管理を行うなど、職員間の意識統一や意欲向上を図りながら、互いに学び合える環境を整備することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けることで、これまでの園運営、保育を振り返る良い機会となりました。保護者のご意見を真摯に受け止め、子どもたちにとってより良い環境づくりに努めていきたいと思っております。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり